

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

2月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「ミサゴ タカ科」

留鳥。全長 57cm。魚食性のタカ。水中に足から飛び込んで魚を獲る。飛翔時に頭と喉、腹の白色が目立つ。



「メジロ メジロ科」

留鳥。全長 12cm。目の周りの白色と黄緑色の体が特徴。つがいでもカワヅザクラなどの花蜜を吸っている。



「シロハラ ツグミ科」

冬鳥。全長 25cm。地上を跳ね歩きながら昆虫などを採食する。その名の通り腹部が白っぽい。



☆「カワヅザクラ バラ科」☆

オオシマザクラとカンヒザクラとの自然交雑種。日本原産。早咲きの桜として知られている。



「ウバユリ ユリ科」

薄暗い林床に生える多年草。みずみずしい幼葉が目立つ。山間部では食用にされることもある。



☆「アセビ ツツジ科」☆

日本特有の常緑低木で、万葉集に登場するほど昔から庭木として人気がある。



「オオアリドオシ アカネ科」

葉の長さは 10-50mm とアリドオシより大きい、刺は葉の半分以下の長さ。別名ニセジュズネノキ。



☆「シタキソウ キョウチクトウ科」☆

海岸近くの林下に生える常緑つる性の多年草。綿毛/種髪(しゅはつ)のついた種子が沢山落ちている。



「タイミンタチバナ サクラソウ科」

暖地の海岸沿いに生える常緑小高木。雌雄異株。葉は細長く葉脈は目立たない。果実の大きさ約 5mm。

☆印はビジターセンター周辺でも生えているので、車イスで見に行くことも出来ます。

宇久井半島では、日差しがだんだん暖かく感じられるようになりました。
園地内を散策して春を見つけに来て下さい♪みなさまのお越しをお待ちしております♪

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2026 年 2 月後半号



吉野熊野国立公園 宇久井半島

冬版

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒埼灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m

クロサギ
ミサゴ
ヒドリガモ
マガモ



千尋の浜

(上地の浜)

フェリーターミナル方面
通行できません



至 R42

外の取

セグロカモメ
ウミネコ

自然観察の森

上野展望台

防空監視哨

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブコウジ

ヤブツバキ

ヒサカキ

モチノキ

ヤマモモ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ツルコウジ

ヤマモモ

ヒサカキ

シロダモ

ウバコリ

ツルコウジ

竹林

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

ハマオモト

ハマダイコン

ハマゴウ

ハマナタマメ

地玉(じこく)の浜

松尾展望広場



赤灯台



タイミンタチバナ

スタジイ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

木のすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

駒埼灯台

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

凡例

- 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段